

ワークショップ参加者へのお願い

- ワークショップで使用する資料の撮影、録画や、ワークショップ中の撮影、録画、録音（以下、「撮影等」）については、ご遠慮いただきますようお願いいたします。
- 最優秀者を選定する審査前ですので、本日のワークショップで話された内容や、資料に記載された内容等については、口外しない等、情報の取扱いにご高配を賜りますようお願いいたします。
- 本日使用した資料、及び事前に送付した資料（「名古屋城木造天守の昇降技術に関する公募 提案技術の紹介」と書かれた資料）につきましては、ワークショップ終了後に机の上に置いたままにし、持ち帰らないようお願いいたします。

技術・製品名称※1	平地移動・階段昇降のための装着型および搭乗型ロボット
技術・製品イメージ	
想定する障害の内容・程度 ※2	① 車椅子を使用せずに歩行が可能な方 ② 車椅子の使用が必要な方
移動できる階数	地 階 ～ 五 階
導入場所の想定	設置不要
利用人数	1（ロボット1台あたり） 名／回
必要介助・操作者数	1（搭乗者および装着者が兼任可） 名／回
昇降速度	① 0.2（装着型、装着者の歩行速度による） m／s ② 0.02（搭乗型）
搬送能力	1（ロボット1台あたり1名利用で観覧時間による） 人／h
利用・操作方法	① 3箇所ベルトをとめ、電源を入れるだけで利用可能 複雑な設定は不要 ② ジョイスティック操作により操舵可能 階段の昇降は自動走行
使用時の安全性の確保に関する特徴	パーソナルケアロボットの国際安全規格 ISO 13482 に準拠する ① 足の振り出しをアシストすることで躓きを抑制する ② 階段昇降中にも常に4点以上が床に設置し、静的安全を確保 障害物、人、階段等を検知し、衝突等を回避 電源喪失時には、ロック・ブレーキが作動し安全を確保

バリアフリーの 実現に関する特徴	車椅子に依存せずに歩行が可能な方は、装着型ロボットによる歩行、階段昇降の動作アシストを行うことで、気兼ねなく城内を観覧することが可能。車椅子の使用が必要な方は、搭乗型ロボットによる移動手段を提供する。歴史的建造物等を改修することなく利用可能であることが、最大の特徴である。
その他の特徴	階段昇降だけでなく、平地移動についても負担を軽減（段差乗り越え含む）

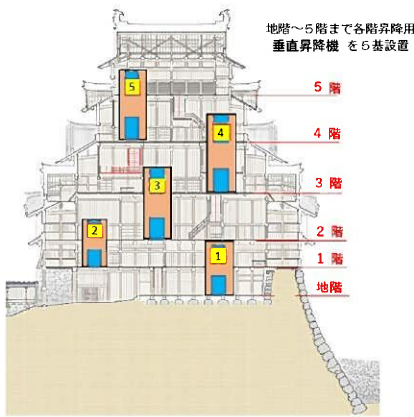
※1：企業が特定・類推できる技術や製品名称には固有名詞を使わず、一般的な名称で記載ください。

※2：どのような障害がある方の利用を想定しているか、できるだけ細かく記載してください。

(様式3-3)

技術概要（ワークショップ提示用）

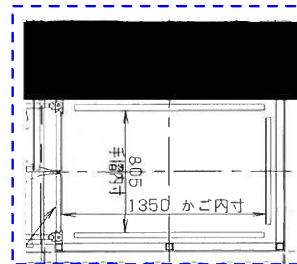
開発を行う技術の概要について記載してください。技術の特長やイメージが高齢者・障害者など、誰にとっても理解しやすいように、専門的な用語を避け、簡潔かつ分かりやすく記載してください。本様式の記載内容は、主にはワークショップにおいて提示する想定のものであります。そのため、日本語で記載するとともに、企業を特定・類推できる情報や、機密情報の記載は行わないでください。

技術・製品名称※1	垂直昇降機(エレベーター技術)
技術・製品イメージ	1. 木造天守の狭小な空間内で大天守内部を垂直昇降する技術です。 史実に忠実に復元された名古屋城木造建築の歴史的価値を損なうことなく、大天守内部の各階に垂直昇降機(エレベーター技術)を5基設置し、大天守地階から最上階(5階)までの垂直昇降を実現する革新性のある技術です。 垂直昇降装置設置イメージ  地階～5階まで各階昇降用 垂直昇降機を5基設置 垂直昇降装置外観  (1) 大天守地階から1階までのみならず、最上階(5階)まで各階層へ配置する垂直昇降機(5基)で昇降が可能で、多くの人に上層階へ上がっていただくことが可能です。 (2) 障害がある人(肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、平衡機能障害、言語機能障害等)もない人も利用が可能で、通常の建物に据え付けられているエレベーターと同様の操作で誰もが簡単に使用でき、昇降が可能です。(手すり等バリアフリー対応装備付) (3) 健常者の移動経路を妨げず共存した経路に設置可能です。すなわち、木造天守閣内の昇降階段とは別箇所へ設置することにより、健常者の移動経路を妨げません。 (4) 垂直昇降機は、梁を挟み込むなどの工夫をし、柱や梁等の主架構を変更せず設置可能です。また、取り外すことにより史実に忠実な状態に戻すことが可能です。

2. 実現性の高い垂直昇降技術です。

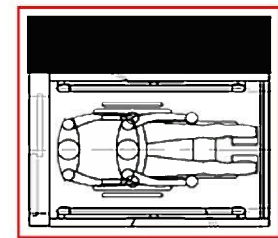
既にフェリー等の船舶内客室甲板への昇降設備や航空機搭乗機材等多くの導入実績を有している垂直昇降機をベースとして開発しており実現性が高く、開発期間の短縮にも繋げられる新技術です。又、他製品で実績のある垂直昇降機(エレベーター技術)をダウンサイジングし、梁の内法開口寸法(長さ1500mm×幅1600mm)をクリアし、バリアフリー寸法基準も満足できる見通しです。

開発のベースとなる他製品に
導入済みのエレベーター



開口寸法 1700mm×1750mm に適用

新技術 垂直昇降装置



開口寸法 1500mm×1600mm に適用

ダウンサイジング

(注)本技術は内部エレベーター構造でありながら、高度な技術で極限までダウンサイジングした革新的で実現可能な昇降技術です。

本垂直昇降機の協業パートナー会社は垂直昇降機の開発製造で17年以上の実績があります。本垂直昇降機(エレベーター技術・バリアフリー対応)は、船舶や航空機搭乗機材での納入・運用実績をベースに開発を行うため、確実な実現性があります。

《既存製品の主な導入事例》

・船舶への導入実績



・航空機搭乗機材への導入実績



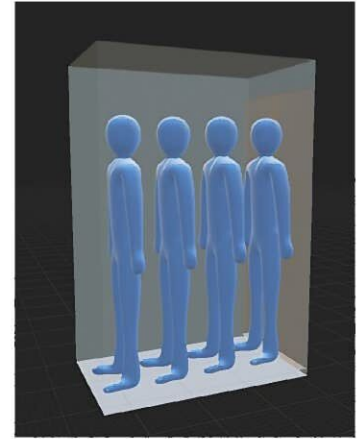
3. バリアフリーに対応した垂直昇降技術です。

かご(乗用部分)サイズ長さ1350mm×幅805mmを確保し、車椅子と介助者の2人、もしくは非車椅子利用者4人の搭乗が可能です。
(長さ 1050mmX 幅 650mm 程度の電動車椅子も利用可能)

介助者を伴う車椅子の搭乗イメージ



非車椅子利用者4人の搭乗イメージ



- (1) 健常者の移動と同じような時間で安心してスムーズな移動が可能な技術です。

昇降速度 20m/分、地階～1 階間 4.2m を約 13 秒、
最大階高約 7.5m(3～4 階)を約 23 秒で昇降可能です。

(注) 昇降スピードはインバーター制御により上記昇降スピードから速くすることも可能です。

- (2) 一般のエレベーターと同様に多人数による反復利用が可能です。

① 往復利用時:

車椅子1台+介助者計2人で168人/時

非車椅子利用者4人で336人/時

② 片道利用時:

車椅子1台+介助者計2人で84人/時

非車椅子利用者4人で168人/時

※地階～1階の階高約 4.2mの1時間あたりの搬送能力を示す。

- (3) 誰もが怖い思いをしないで利用でき、不安感のない垂直昇降機です。通常の建物に据え付けられているエレベーターと同様の操作方法で利用でき不安感なく昇降可能です。
又、かご(乗用部分)内には緊急時に使用できるインターフォン等の外部と通信できる機器を据えております。

- (4) 他人の助けを借りることなく昇降できる垂直昇降機です。
通常の建物に据え付けられているエレベーターと同様に他人の助けを借りることなく利用可能です。
(介助者の同乗も可能です。)

	4. 地震発生時等の層間変形に対応できる技術です。 地震発生時等の層間変形に対応できる技術を開発します。
想定する障害の内容・程度 ※2	《階段歩行に困難な高齢者や幅広い障害の人々に対応》 つたい歩きを含めた歩行全て、立位の保持、立ち上がること全てができず、車椅子を使用することが多い人や階段の昇降に於いて介助が必要な人(障害がある人: 肢体不自由、視覚障害、聴覚障害、平衡機能障、言語機能障害等含む)等多くの人々を対象としています。
移動できる階数	地階～5 階 (各階に 1 基) 合計 5 基
導入場所の想定	床 階段・城外・設置不要・その他 ()
利用人数	車椅子1台+介助者1人 計 2 人 /回 又は非車椅子利用者 4 人
必要介助・操作者数	1 人(介助者又は非車椅子利用者) /回
昇降速度	0.33m /秒 (20m/分)
搬送能力	車椅子/介助者 計 2 人乗車時 84 人 /時(片道利用時) 168 人 /時(往復利用時) 非車椅子利用者 4 人乗車時 168 人 /時(片道利用時) 336 人 /時(往復利用時) 地階～1階の階高約4.2mの1時間あたりの搬送能力を示す。

利用・操作方法

《一般エレベーターと同様な操作にて昇降可能です》
 (添付写真は他製品にて納入済製品)

- ①入口右側にある呼び出し釦(昇降)を押し、
 垂直升降装置を呼び出す



- ②ドアが開いたら中に入る

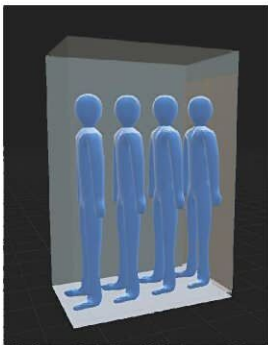


- ③装置内操作パネルで行先釦を押して、ドアを閉める



- ④搭乗完了



使用時の安全性の確保に関する特徴	1. 高い技術力・専門知識を活かした自社検査等により安全性を確保 2. 安全性の高い垂直昇降技術の応用で安全性を確保 3. 安全・防災機能の装備付与により安全性を確保 4. 停電、火災、地震等災害が発生した場合の対策で安全性を確保 5. 利用時のいかなる場合でも利用者等の安全を確保 6. 利用時の安全性確保のための対策を講じる
バリアフリーの実現に関する特徴	1. 大天守内部の各階に垂直昇降機(エレベーター技術)を5基設置することにより大天守地階から最上階(5階)まで昇降が可能 2. 利用対象者の範囲も広く、様々な人々が使用できる垂直昇降機 3. 一般のエレベーターと同様な操作で昇降が可能で、誰もが簡単に使用可能 介助者を伴う車椅子の搭乗イメージ  非車椅子利用者4人の搭乗イメージ  4. 健常者の移動と同じような時間で安心してスムーズな移動が可能
その他の特徴	1. 遵守すべき基準法令等必要な許認可を把握済み 2. 船舶用垂直昇降機規則の応用で、必要な許認可を得られる見込み 3. 既存技術を応用し開発費用を抑え、契約金額の上限以下で対応可能 4. 運用導入後も日本国内に5年以上サポートし続ける体制を構築 5. 耐用年数は15年(実績ある既存垂直昇降機ベースで設定) 15年以降も仕様変更により延長可能

※1：企業が特定・類推できる技術や製品名称には固有名詞を使わず、一般的な名称で記載ください。※2：どのような障害がある方の利用を想定しているか、できるだけ細かく記載してください

(様式 3 - 3)

技術概要（ワークショップ提示用）

開発を行う技術の概要について記載してください。技術の特長やイメージが高齢者・障害者など、誰にとっても理解しやすいように、専門的な用語を避け、簡潔かつ分かりやすく記載してください。本様式の記載内容は、主にはワークショップにおいて提示する想定のものであります。そのため、日本語で記載するとともに、企業を特定・類推できる情報や、機密情報の記載は行わないでください。

技術・製品名称※1	いす式 階段昇降機
技術・製品イメージ	

想定する障害の内容・程度 ※2	階段の上り下りがつらい方、足を怪我されている方、足腰が弱ってきている方、足の不自由な方
移動できる階数	地階 階 ～ 5 階
導入場所の想定	階段・階段踊り場
利用人数	1台につき 1名/回
必要介助・操作者数	介助を必要とされている方1名につき 1名/回
昇降速度	7.2 m/s 以下
搬送能力	30 人/h
利用・操作方法	操作レバーを進行方向へ押し続ける。リモコン操作の際も同様の手順。
使用時の安全性の確保に関する特徴	押し続け式操作（手を離すと昇降機は停止） 障害物自動検知装置 転落防止ベルト 非常止めスイッチ 曲線部走行時の徐行運転機能 過速走行検出スイッチ 用途（乗用）・定員・積載量の表示
バリアフリーの実現に関する特徴	階段部における段差の解消 誰でも安心して使用出来る 介助者いなくても、一人でも利用することが出来る

その他の特徴	すっきりとした１本レールに椅子は日本家屋にも調和する配色、体を優しく包み込む、緩やかにカーブしたひじ掛け。機能だけでなく、デザイン性も優れている。毎年ドイツで開催される、リハビリ・介護・福祉機器の見本市「REHACARE（リハケア）」でデザイン賞を受賞しています。
--------	--

技術概要（ワークショップ提示用）

開発を行う技術の概要について記載してください。技術の特長やイメージが高齢者・障害者など、誰にとっても理解しやすいように、専門的な用語を避け、簡潔かつ分かりやすく記載してください。本様式の記載内容は、主にはワークショップにおいて提示する想定のものであります。そのため、日本語で記載するとともに、企業を特定・類推できる情報や、機密情報の記載は行わないでください。

技術・製品名称※1	IoA 遠隔体験サービス
技術・製品イメージ	・サービスの全体像 ※ご提供する環境により制限があります。 ・配信者用のウェアラブルデバイス例1： 5G時代の 遠隔体験を支援する ウェアラブルデバイス ※特許出願中 複数拠点接続(1:N接続) HapticLED 遠隔指示 遠隔撮影 情報発信 多言語翻訳

	・配信者用のウェアブルデバイス例 2 : XXXXXXXXXX (スマートグラス活用型)  ●両手が自由に使える! ●目録の映像が相手に伝わる! ●ポインター付きの映像を送信することでより正確なコミュニケーションが可能!
想定する障害の内容・程度※2	本提案は遠隔体験サービスであるため、歩行が困難な方に幅広くご体験いただけます。(もちろん健康者であっても楽しんでいただけます)
移動できる階数	あくまで遠隔体験としてですが、最上階まで
導入場所の想定	床(大型ディスプレイ等の場合)・階段・城外・設置不要・その他(ご本人に装着の場合)
利用人数	4 名/回 ※専用ガイドが配信者となる場合
必要介助・操作者数	1 名/回 ※専用ガイドが配信者となる場合
昇降速度	遠隔体験サービスのため該当なし
搬送能力	遠隔体験サービスのため該当なし
利用・操作方法	ご家族のどなたか、もしくは専用のガイドが配信者となり、カメラ付きのデバイスを装着のうえ、天守を登っていただきます。障がいのある方は視聴者として、大型ディスプレイ等の映像機器(配信者のデバイスと接続)を通じて、配信者とコミュニケーションを取りながら映像・音声を体感いただきます。
使用時の安全性の確保に関する特徴	視聴者(障がいのある方)：配信者からの映像をご覧いただき、音声でのコミュニケーションが中心となるため、安全性は問題ないかと存じます。 配信者(ご家族や専用ガイド)：デバイスを装着、天守を登っていただく形になるため、しっかり足元をご確認いただく等、運用上では注意喚起を行います。
バリアフリーの実現に関する特徴	遠隔体験サービスであるため、歩行が困難な障がいのある方のかたに幅広くご体験いただくことが可能です。
その他の特徴	視聴者は音声のほか、専用コントローラー等で気になる箇所(もっと左側を覗きたい等)を感覚的に配信者に伝えることができ、双方向のコミュニケーションを活性化し、一緒に天守を登っているかのような体験をご提供可能です。

※1：企業が特定・類推できる技術や製品名称には固有名詞を使わず、一般的な名称で記載ください。

※2：どのような障害がある方の利用を想定しているか、できるだけ細かく記載してください。

日付	社名	班番号	意見カテゴリー (あるものは記載)	個別意見 (付箋)
9月2日	K社	1		1人で来てこしかけるのは結構だが、一般の人に手すりがつけられるか心配
9月2日	K社	1		クランクになっている所も乗り換えずに行けるか
9月2日	K社	1		昇降機に来る人に対し、介助者がついて行けるのか。安全性・スピードの調整できるように
9月2日	K社	1		スピードの調節。早く行きたい、ゆっくり行きたい利用者のニーズに合わせられるか
9月2日	K社	1		1人で来た場合、手が不自由な方に対しての操作の対応はどうするのか
9月2日	K社	1		(操作する降りる時も) 専用スタッフが必要 (安全面)
9月2日	K社	1		階段の乗り場、降り場を階段から少し離れた所からできると、人の滞留少なくなる
9月2日	K社	2		誰が対象か？
9月2日	K社	2		どうすれば運用しやすいか？
9月2日	K社	2		一人でのりおりしなきゃ
9月2日	K社	2		ふつうのエレベーターではダメなの？
9月2日	K社	2		車いすの人はのりかえがいる
9月2日	K社	2		車いすを置く場所が必要
9月2日	K社	2		車いすをどう上に上げるか？
9月2日	K社	2		制約が不明瞭
9月2日	K社	2		②車いすを上げる
9月2日	K社	2		②車いすごと使える
9月2日	K社	3		県外から誘致した時の観光バスで来たら皆のれない
9月2日	K社	3		団体客が来たらきびしい
9月2日	K社	3		健康的な人も乗にのぼれてよいと思う
9月2日	K社	3		階段部分は絵では2つあるが、全体でいくつあるか
9月2日	K社	3		介助者がのぼるスピードと同じ
9月2日	K社	3		階段は史実に忠実にできているものなのか。改造せずにできているのか
9月2日	K社	3		形はかっこいいと思う
9月2日	K社	3		1時間に30人は少ない
9月2日	K社	3		動く歩道みたいなものがあるといい
9月2日	K社	3		車いすの人は車いす(統一したもの)のまま乗れるものがあると
9月2日	K社	3		2人乗りできるとよい
9月2日	K社	3		予約制、事前に使用を伝える
9月2日	K社	4		1時間に30人というのは往復することを考えると15人か？
9月2日	K社	4		1回につき1人というのがネックなのではないか？連結させて人数が4～5人なら良い
9月2日	K社	4		事前に予約ができる方が良いのでは？(待ち時間を緩和)
9月2日	K社	4		現場に介助してくれる人はいるのか？介助する人がいて欲しい
9月2日	K社	4		障害者用のエレベーターを外につけて導線を整備した方が良いのでは？
9月2日	K社	4		階段の幅を考えるとじゃまになるのでは？
9月2日	K社	4		平日に利用の制限をかけた方が良いのでは？
9月2日	K社	4		上り下りの人が使えるように手すりを作って欲しい
9月2日	K社	4		一般の人と接触しないように区別できるようにして欲しい
9月2日	K社	5		車イスごと乗れるように
9月2日	K社	5		2人乗りにならない？(介助者も乗れるよう)
9月2日	K社	5		ゆとりを持って介助出来るように
9月2日	K社	5		長持ちすることが大事(木造は1000年！)
9月2日	K社	5		介助不要の人専用にするとか？
9月2日	K社	5		複数箇所必要となる
9月2日	K社	5		待ち時間が長くなる？
9月2日	K社	5		下りは少し怖い
9月2日	K社	5		SCにあるエスカレータみたいに車イスが留まる仕組み
9月2日	K社	5		この方式と別のものを併用する
9月2日	C社	1		②のタイプ想像が難しい
9月2日	C社	1		下りの場合の①歩行型について安全に降りられるか
9月2日	C社	1		忠実に忠実な階段に対し、安全性を確保できるか
9月2日	C社	1		①も②も安全性(技術的 人の意識、昇り降り、昇り降りする時の体勢)
9月2日	C社	2		車いすの保管場所が必要
9月2日	C社	2		1F～5Fまでしっかり見ると1時間では足りない
9月2日	C社	2		乗りつぎスペース
9月2日	C社	2		スピードが遅いので時間が制限
9月2日	C社	2		階段が急だで大丈夫？
9月2日	C社	3		イメージがわからない
9月2日	C社	3		階段部分での安全面が心配。柵などをつけてほしい
9月2日	C社	3		車いす型の方は階段がこわい。ルールなどがあると◎
9月2日	C社	3		改造の必要がないのは◎
9月2日	C社	3		昇降速度が遅いので、安全な速度で走行してほしい
9月2日	C社	3		5階まであるので、見るものがたくさんあり、1人が占用すると他の人使えない
9月2日	C社	4	①	①の技術でも手すりはつけて欲しい
9月2日	C社	4	①	ワイヤーもあった方が良いのでは？
9月2日	C社	4	①	義足の方は大丈夫か？
9月2日	C社	4	②	下りはバックにした方が良いのでは？(上りと同じように)
9月2日	C社	4	②	専用の場所を線で区切ってセンターを通して欲しい
9月2日	C社	4	②	健常者とぶつかった時の対策を

日付	社名	班番号	意見カテゴリー (あるものは記載)	個別意見 (付箋)
9月2日	C社	4	②	手すりにワイヤーや安全帯をつけて安心感を高めて欲しい
9月2日	C社	4	②	上にワイヤ／安全帯をつけて欲しい
9月2日	C社	4	②	介助者を一人はつけてほしい
9月2日	C社	4	②	怖くないように衝撃を少なくして欲しい
9月2日	C社	5		動画が欲しい
9月2日	C社	5		恐くないように工夫すること
9月2日	C社	5		申し込み・予約 (車イスの方)
9月2日	C社	5		階段実行の違いにも対応するように
9月2日	T社	1	考え方	AI技術により、もっと多くの人が体験
9月2日	T社	1	考え方	リアルタイムそれぞれの人の体験
9月2日	T社	1	メニュー	親しい家族と同じ体験ができるように
9月2日	T社	1	メニュー	江戸時代に戻って、着物を着てお城を楽しむ自分
9月2日	T社	1	メニュー	普通、一般の人がいけないところへも行く (見る) ことできる
9月2日	T社	2	技術へのアクセス	使い方 レクチャー
9月2日	T社	2	技術へのアクセス	そもそもタブレットもってない
9月2日	T社	2	技術へのアクセス	タブレットかしだし
9月2日	T社	2	技術へのアクセス	テレビから見ると良い
9月2日	T社	2	映像で何をしたいか？	予め良い映像を撮る
9月2日	T社	2	映像で何をしたいか？	リアル感高める
9月2日	T社	2	映像で何をしたいか？	金シャチの接近映像
9月2日	T社	3		名古屋城についてのテレビを見た方がわかりやすいと思った
9月2日	T社	3		藝人が配信すると見づらいと思う。プロにやってもらう
9月2日	T社	3		外観もドローンで見ればおもしろそう！しゃちほことか
9月2日	T社	3		とっつきにくくてもおもしろくないように感じる
9月2日	T社	3		見たい部分を詳細に見れるので良い
9月2日	T社	3		ぜひ体験してみたい 夢のよう！
9月2日	T社	4		臨場感を高める工夫して欲しい
9月2日	T社	4		触った感覚 歩いている感覚など
9月2日	T社	4		VRゴーグルを使用してリアルに
9月2日	T社	4		金シャチの横までいける (さわれる)
9月2日	T社	4		組み合わせとしてもいいのでは？
9月2日	T社	4		行ける人が満足できるように
9月2日	T社	4		家にも体験できるように (寝たきりでも)
9月2日	T社	4		遠方 (海外) にいるご家族とものぼれるようにして欲しい
9月2日	T社	4		入場料 (100円) くらいで利用できたらいいな
9月2日	T社	5		あっても良い
9月2日	T社	5		家でも体験できるように！
9月2日	T社	5		天守閣にのぼるという意味の本質を考える
9月2日	T社	5		自分の目で見る感動は？
9月2日	T社	5		装置としては設置しやすい
9月2日	H社	1	わかりやすい技術	一番わかりやすい技術
9月2日	H社	1	わかりやすい技術	介助者も一緒にあがれる
9月2日	H社	1	わかりやすい技術	1 階ずつから 2 階ずつなど技術的にのぼせるか
9月2日	H社	1	史実に忠実	史実に忠実な技術としてどうか？
9月2日	H社	1	史実に忠実	(4) 取り外すことができるのが、史実に忠実に近づける
9月2日	H社	1	史実に忠実	少しでも史実に忠実に (エレベーターの箱も木造の雰囲気) 令和の名古屋城
9月2日	H社	1		一番理解が深まった！！
9月2日	H社	2		一階ずつ上がるので理想的
9月2日	H社	2		順路沿いに設置
9月2日	H社	2		順番表示と点字
9月2日	H社	2		安全性高い
9月2日	H社	2		4人くらい乗れると良い
9月2日	H社	2		健常者はふつうに昇ってほしい
9月2日	H社	2		階段のすぐ横にあると良い
9月2日	H社	2		見映えを良くする
9月2日	H社	3		エレベーターのシャフト部分をまわりのものと調和させてほしい
9月2日	H社	3		輸送能力を極限まであげてほしい
9月2日	H社	3		いいと思った。各階に止まれるし、4人も乗れる◎
9月2日	H社	3		車いすでのれて乗りがえもなく非常に良い
9月2日	H社	3		完ペキ
9月2日	H社	4	コレが一番！良い点	階段につけるよりも外観も安全性も良い
9月2日	H社	4	コレが一番！良い点	人の目も気にならない
9月2日	H社	4	コレが一番！良い点	一般の人にも迷惑が少ないのも良い
9月2日	H社	4	こうしてもいいかな！	降りる時に時間がかかってしまう (心理的にも)
9月2日	H社	4	こうしてもいいかな！	(もし可能なら) 台数を増やして欲しい
9月2日	H社	4	こうしてもいいかな！	エレベーターの中にあきさせない工夫があると良い
9月2日	H社	4	こうしてもいいかな！	4 面パネルがあって星空とか昔のイメージ映像とか
9月2日	H社	5		安心感ある
9月2日	H社	5		上下輸送でムダがない

日付	社名	班番号	意見カテゴリー (あるものは記載)	個別意見 (付箋)
9月2日	H社	5		輸送量も充分
9月2日	H社	5		入るところと出るところの工夫
9月2日	H社	5		ドア部分の仕上げは工夫 (フニイキ)
9月2日	H社	5		空間の中に楽しめる工夫
9月2日	H社	5		設置場所に無理がないよう
9月2日	H社	5		ワザとフロアをまわるような設置場所に
9月2日	H社	5		もっと耐用年数を長くする
9月3日	K社	1		稼働している所が少ない一理由がある？
9月3日	K社	1	★	一般の方との接触が心配
9月3日	K社	1	★	予約制にして運用の日程を決めたらどうか？
9月3日	K社	1	★	曜日を決めたらどうだ？
9月3日	K社	1	☆	車イスごと利用できる形にした方が良いのでは？
9月3日	K社	1	☆	自分の車イスをどうするのか？
9月3日	K社	1		1Fまでこの技術を使って5Fまでを他の技術と組み合わせたらどうか？
9月3日	K社	1		イスの高さを変動できるようにして欲しい (のせる時に大変だから)
9月3日	K社	1		景観／雰囲気を壊しちゃうのでは？
9月3日	K社	2	①	安心感 (体を委ねられる)
9月3日	K社	2	①	おりるときにこわくないように
9月3日	K社	2	①	専門の介助者
9月3日	K社	2	①	体が固定
9月3日	K社	2	②	ループにすると昇り降りできる
9月3日	K社	2	②	スピード感
9月3日	K社	2		せまくても急なところでもつけれる？
9月3日	K社	2		スロープにつける
9月3日	K社	3	見たことある！！	近所に実例ある TVで見た事ある
9月3日	K社	3	個人差あり。不安をのぞけるように	1人である時に不安をのぞけるように
9月3日	K社	3	個人差あり。不安をのぞけるように	心理的な不安を除けるように、もう少し丑む (厚みをもたせるなど)
9月3日	K社	3	個人差あり。不安をのぞけるように	車のシートベルトのように、人体をもう少し固定してほしい
9月3日	K社	4		1.車いす使用者の乗り降りに時間がかかってしまうのではないかと (時間も手間もかかる)
9月3日	K社	4		↑車いすと一緒にのせれるようにしたほうが良い
9月3日	K社	4		2.階段の乗り降りが難しい方にはとても良い
9月3日	K社	4		3.本当に乗りたいた方が乗れるように運用してほしい (予約など)
9月3日	K社	4		4.人が集まった時に、昇降機の運用が難しくなってしまう
9月3日	K社	4		5.片方だけ手すりがつかなくなってしまう
9月3日	K社	5	複線化	機械が急に止まる時はどうするか？
9月3日	K社	5	複線化	昇り専用、下り専用があるとよい
9月3日	K社	5	複線化	1→5階に行く人は、乗りがえが大変そう
9月3日	K社	5	複線化	1hで30人だと輸送能力足りるか？
9月3日	K社	5		昇りだけの専用があると、人を運ぶ時間が減る
9月3日	K社	5		エレベーターなぜ無理？
9月3日	K社	5		各階にとまるときはどうするか？一つ一つ止まる
9月3日	K社	5		階ごとに止まるから、1→5階に行く人が難しい
9月3日	K社	5		二人乗りとかよいのでは？
9月3日	K社	5	車イス	車イスのまま乗れるとよい
9月3日	K社	5	車イス	どのような人を対象にしているのか一運ぶ人
9月3日	K社	5	車イス	車イスの人だと、転がり落ちるかも
9月3日	K社	5	車イス	下においた車イスはどうするの？
9月3日	K社	5	車イス	階ごとの車イスの乗りがえが大変
9月3日	K社	5	車イス	車イスの人はどうしたらいい
9月3日	K社	5	車イス	車イスの乗せかえ大変
9月3日	K社	5	車イス	車イスだと乗れない
9月3日	C社	1	コメント	TVで見た？ (まだ完成はされていない？)
9月3日	C社	1	コメント	見た目はGood！
9月3日	C社	1	アイデア	子どもは使えない？一対応できるとイイな
9月3日	C社	1	アイデア	①子どもを抱えていけるのにもサポートできるのでは？
9月3日	C社	1	不安・疑問	昇りのイメージが湧かないな・・・
9月3日	C社	1	不安・疑問	コストはどうなるのか？
9月3日	C社	1	克服して欲しいポイント①	安全性への不安
9月3日	C社	1	克服して欲しいポイント①	すれ違いをする際にはどうなるのか？
9月3日	C社	1	克服して欲しいポイント②	昇り降り時間がかなり過ぎなのでは・
9月3日	C社	2		車いす 安全そうに見えるデザイン
9月3日	C社	2		健常者に不安を与えてしまう
9月3日	C社	2		スピードアップ
9月3日	C社	2		名古屋城の外でも使えるよね
9月3日	C社	2		安全性
9月3日	C社	2		コワくないように
9月3日	C社	2		角度がつく不安
9月3日	C社	3		自由に使える 一般の人と一緒に移動できる
9月3日	C社	3		車いす使用者に聞いてみたい

日付	社名	班番号	意見カテゴリー (あるものは記載)	個別意見 (付箋)
9月3日	C社	3		体が水平になるように安心感
9月3日	C社	4	①②	実物を早くみたい
9月3日	C社	4	①②	安全なのか (技術的に大丈夫なのか)
9月3日	C社	4	①	使用者の個人差が出てくる
9月3日	C社	4	①	平地移動は楽になるが階段が上がるか
9月3日	C社	4	②	降りる時、怖くないのか
9月3日	C社	4	②	使用者が安全に運転できるのか
9月3日	C社	5	人がかぶる	足をサポートする人がたくさんいたらどうする
9月3日	C社	5	人がかぶる	上の人と下の人が同時に来たらどうしらないのか?
9月3日	C社	5	人がかぶる	下りるときは早そうだが、安全性は大丈夫か?
9月3日	C社	5	人がかぶる	使う場所を、昇りと下りで分けるとよいのでは?
9月3日	C社	5	人がかぶる	①でも②でも使うスペースが足りない
9月3日	C社	5	安全面	安定性確保のためにストッパーが必要では?
9月3日	C社	5	安全面	ズボンをはくことが必須か?
9月3日	C社	5	安全面	①のサポートは倒れる時どうする
9月3日	C社	5	安全面	昇りの人と下りの人がぶつかってしまう
9月3日	C社	5	安全面	アシストが本人の思いと違ったときあぶなくないか?
9月3日	C社	5	安全面	①は人それぞれに合わせた調整が必要
9月3日	C社	5	安全面	①は体をサポートするもの?
9月3日	C社	5		①がイマイチ分からん
9月3日	C社	5		現物 (製品) を見て考えたい
9月3日	C社	5		①坂が急すぎで使えないのでは?
9月3日	C社	5		体型に合わせる必要がある
9月3日	C社	5		城内がどうなっているかを見ないと使い方が分かりにくい
9月3日	C社	5		名古屋城のイメージがわからない
9月3日	C社	5		自由には動けないが、①より②のほうが早そう
9月3日	C社	5		使い方がいまいち分からん
9月3日	C社	5		トイレが近い人はどうする?
9月3日	T社	1	要望／アイデア	映像を撮影／記録しておき、自分で選択していけるようにしたい
9月3日	T社	1	要望／アイデア	臨場感を!
9月3日	T社	1	要望／アイデア	VRグラスで見れるようにして欲しい
9月3日	T社	1	要望／アイデア	イスが動いたり、風がふいたり、「4D」っぽく
9月3日	T社	1	要望／アイデア	デジタルだからこそ...
9月3日	T社	1	要望／アイデア	お城をつくっている様子 (昔の様子) 見れたらオモシロイかも
9月3日	T社	1	要望／アイデア	プロのガイドが見所等を紹介して欲しい
9月3日	T社	1	要望／アイデア	利用人数を増やして欲しい
9月3日	T社	1	要望／アイデア	会話は出来ることが大前提
9月3日	T社	1	コメント	本体の形を残す形でイネ
9月3日	T社	1	コメント	他の方に迷惑がからないし、安全性もOK!
9月3日	T社	2		簡単に使いやすく!
9月3日	T社	2		専用のゲストルーム
9月3日	T社	2		名古屋城の中の映像があるといい
9月3日	T社	2		確実に使えるようにしてほしい
9月3日	T社	2		数が必要
9月3日	T社	3	見る感覚から五感へ	まちを見降ろしたり360° 見たり
9月3日	T社	3	見る感覚から五感へ	急階段をあがる時手をつくなど、質感、臨場感
9月3日	T社	3	見る感覚から五感へ	木造の木のぬくもりを感じる
9月3日	T社	3	見る感覚から五感へ	仲間と手をつないでいる感覚
9月3日	T社	3	見る感覚から五感へ	木のおい 花のおい
9月3日	T社	3	見る感覚から五感へ	見えない方でも使えるように
9月3日	T社	3	スペシャル	専用ガイドによるスペシャルメニュー
9月3日	T社	3	スペシャル	ねたきりの人でも体感できる
9月3日	T社	3	スペシャル	他の技術と組み合わせ
9月3日	T社	3	スペシャル	もっと時間あればアイデアふくらむ
9月3日	T社	4		最新の技術を使えば安全にたくさんものを見れる
9月3日	T社	4		人によってイメージや感じ方が違う
9月3日	T社	4		視聴者が安全に簡単に操れるようにしてほしい
9月3日	T社	4		この技術だけで止まってはいけない
9月3日	T社	4		付加価値も付けられもっといいと思う (ドローンなど)
9月3日	T社	4		臨場感を味わえるようにしていきたい
9月3日	T社	5	リアルとの違い	カメラの位置 (着ける位置) によって映像が異なる
9月3日	T社	5	リアルとの違い	iPad、スマホでも見れる
9月3日	T社	5	リアルとの違い	家で見るビデオと何が違う??
9月3日	T社	5	リアルとの違い	実際に見ることを重要視
9月3日	T社	5	リアルとの違い	リアルに触れないから、行ったのとは違う
9月3日	T社	5	リアルとの違い	生で見た方がよいのでは?
9月3日	T社	5	リアルとの違い	今の技術とは何が違う?
9月3日	T社	5	リアルとの違い	他のものとは視点が違うからとまどう
9月3日	T社	5	使い方	城の新しい見せ方

日付	社名	班番号	意見カテゴリー (あるものは記載)	個別意見 (付箋)
9月3日	T社	5	使い方	他の技術との組み合わせ
9月3日	T社	5	使い方	何台カメラをもっていくのか？→10台では足りない
9月3日	T社	5	使い方	リアルに見ることのサポート
9月3日	T社	5	使い方	見せたい所はどこでイメージするのか？
9月3日	T社	5	使い方	ディスプレイを何人で見るのか？
9月3日	T社	5	使い方	テレビと本当に似ているような…
9月3日	T社	5	使い方	人それぞれ見たいところが違うから、見せる場所に困る
9月3日	T社	5	使い方	カメラを付ける位置によってぶつかったときにあぶない
9月3日	T社	5	使い方	ぶつからないように注意すること
9月3日	T社	5	使い方	そこに行かなくても行けるのがよい
9月3日	T社	5	使い方	3Dの立体観が体験できる
9月3日	T社	5	使い方	プロがつくった映像じゃないからリアリティが出る
9月3日	T社	5	使い方	臨場感があってよい
9月3日	H社	1	要望／意見	密閉空間で怖いので、シースルーにするなど考えて欲しい
9月3日	H社	1	要望／意見	最悪5つじゃなくてもいいかも（他で代替）
9月3日	H社	1	要望／意見	5つもバラバラの場所だと避難経路が分かり易くして欲しい
9月3日	H社	1	コメント	早いし、安心感もあって良いと思う
9月3日	H社	1	コメント	安全性vs歴史性
9月3日	H社	1	コメント	史実に忠実にして実現できる？
9月3日	H社	2		大きい電動車イスまで入るか
9月3日	H社	2		木質の内装
9月3日	H社	3		一番確実な提案
9月3日	H社	3	不安	最上階に本当に設置できるか？
9月3日	H社	3	不安	エレベーターの数が多く、全分に移動
9月3日	H社	3	誰でも使える	足の悪い人、不安な人ののぼりはいいが、降りるのがこわい
9月3日	H社	3	誰でも使える	車いすの方優先にしつつ、つかれた高齢者も利用できるように
9月3日	H社	3	組み合わせ	パーチャルと組み合わせるといい
9月3日	H社	4		1人で安全に健常者のじゃまにならなくて良い
9月3日	H社	4		エレベータが1つだけあるよりも良い（回った先に昇降機があるのが良い）
9月3日	H社	4		これだけでなくほかの技術も使ってほしい
9月3日	H社	4		事前に予測できる災害の時に対策できるようにしてほしい
9月3日	H社	4		誰でも安全に使用できる
9月3日	H社	5	運搬能力	各階に2ついるのでは
9月3日	H社	5	運搬能力	エレベータふうのスペースがあるかどうか
9月3日	H社	5	運搬能力	運搬能力はどうか
9月3日	H社	5	運搬能力	人を運ぶ人数は大丈夫だった
9月3日	H社	5	運搬能力	階×1では人を運びきれない
9月3日	H社	5	安全面	部品の交換が必要
9月3日	H社	5	安全面	耐用年数が短い
9月3日	H社	5	安全面	安全が第一
9月3日	H社	5	安全面	安全基準が分からない
9月3日	H社	5	使いやすさ	オーソドックスでよい
9月3日	H社	5	使いやすさ	車イスでも乗れる
9月3日	H社	5	使いやすさ	介助者なしでは乗れない
9月3日	H社	5	結論	現実的に一番良い
9月3日	H社	5	結論	アイデアがイメージしやすい
9月3日	H社	5	結論	人を運ぶことには問題ない
9月3日	H社	5	結論	スペースがないかも
9月3日	H社	5	結論	イス型と併用するとよい
9月9日	K社	1	☆	「誰でも」とうたうのはやめる、使える人を明示（じっと座れる人）
9月9日	K社	1	—	介助者なし、1人で動ける人が使える
9月9日	K社	1	—	踊り場も続けて使えるように
9月9日	K社	1	—	昇降機が別の階にある時に待っている時間があるのをどうするか？
9月9日	K社	1	—	車椅子をあげてくれる事が必要
9月9日	K社	1	☆	国際コンペのレベルとしてどうか（既存の技術では？）
9月9日	K社	1	—	階段が急なところでの恐怖心の改善を
9月9日	K社	2	操作	接触のリスク≠自動検知機能？
9月9日	K社	2	操作	操作性 レバーなど
9月9日	K社	2	本体	体のしっかりした方向け？ ベルトなど補助が必要
9月9日	K社	2	本体	騒音がどれくらいか
9月9日	K社	2	本体	搬送 前後の時間 人によって違う一団体利用？
9月9日	K社	2	建築	天守本体への固定 損傷？
9月9日	K社	2	本体建築	メンテナンス性
9月9日	K社	2	幅	混雑時難しいのでは？
9月9日	K社	2	幅	一般の人に邪魔にならないか
9月9日	K社	2	移動	車椅子、荷物はどうするか
9月9日	K社	2	—	自前の車椅子 難しいのでは？
9月9日	K社	2	建築	幅との関係 本体、補助者+一般通れる？
9月9日	K社	2	—	日ごろから来る人のために、...

日付	社名	班番号	意見カテゴリー (あるものは記載)	個別意見 (付箋)
9月9日	K社	3	—	スペースが狭くて、他の人が通れないのでは？
9月9日	K社	3	—	他の技術と組み合わせが必要
9月9日	K社	3	—	1人2分だから、少し時間がかかりすぎでは？
9月9日	K社	3	—	座れない人が多いのでは？
9月9日	K社	3	—	寝たきりの人では使用が難しい。
9月9日	K社	3	—	付き添いの人が必ずいる一人で乗れない！
9月9日	K社	3	—	椅子を設置するには十分なスペース（階段）が必要
9月9日	K社	3	—	他の人に見られると使いにくいのでは？
9月9日	K社	3	—	重症の方は乗り降りが難しい
9月9日	K社	3	—	椅子のところまで何の車椅子で行くか？
9月9日	K社	3	—	フロアごとに車いすが設置してあるとよい
9月9日	K社	3	—	下に下りる時に怖くないか？
9月9日	K社	3	—	使える人が限られる
9月9日	K社	3	—	椅子に座れる人しか使えない
9月9日	K社	4	—	職員なしでできる？
9月9日	K社	4	—	踊り場の乗り換えが面倒（できない）①
9月9日	K社	4	—	車椅子の運び方
9月9日	K社	4	—	昇り専用と下り専用③
9月9日	K社	4	—	転倒用ベルトの安全性は？
9月9日	K社	4	—	太い 胸用もあるといい③
9月9日	K社	4	—	椅子が他の階にあったらどうする？
9月9日	K社	5	コメント	これがどうして新しいのか？☆
9月9日	K社	5	コメント	どうして…？
9月9日	K社	5	コメント	議論すること自体時間の無駄では☆
9月9日	K社	5	コメント	これがつくと、手すりが片方なくて不安
9月9日	K社	5	コメント	乗る人からすると少し恥ずかしいのでは？
9月9日	K社	5	コメント	車椅子のことを考えられてはいない☆
9月9日	K社	5	コメント	=導入するとしたら組み合わせが前提（車椅子の方の技術と）☆
9月9日	K社	5	コメント	ちょっと歩けるけど…という方も使ってほしい
9月9日	K社	5	コメント	これが提案されること自体、税金のムダ！
9月9日	K社	5	コメント	角度が急だから怖い
9月9日	C社	1	②のみ	「誰でも使える技術」ではない
9月9日	C社	1	②のみ	座れる人の技術
9月9日	C社	1	②のみ	乗っている人が怖くない 不安ないように
9月9日	C社	1	②のみ	スムーズな運行を
9月9日	C社	1	②のみ	ジョイスティックの位置を、人の使い勝手により変えられる。
9月9日	C社	2	本体	衝突・回避どのように？止まるとしても安全でない場所で止まったら？
9月9日	C社	2	本体	②体幹弱い方
9月9日	C社	2	本体	①について、慣れが必要？どれぐらいのサポートになるのか
9月9日	C社	2	本体	⇒学習能力 人に合わせた調整ができるか
9月9日	C社	2	本体	速度→バッテリー 現実的でない？もう少し早く
9月9日	C社	2	本体	4点支持本当にできる？
9月9日	C社	2	—	4点が安全なのか？支持の点数 フレキシブルにどうやって動くのか
9月9日	C社	2	管理	ずっと城内に乗っている一台数が必要
9月9日	C社	2	管理	①の利用者がどれぐらいいるか
9月9日	C社	2	—	乗っている時の操作性 乗り手のコントロール性
9月9日	C社	2	—	→リスク回避
9月9日	C社	2	—	階段との兼ね合い
9月9日	C社	3	—	背中にそりを着けてやるのもあり？
9月9日	C社	3	—	①スピードが遅いのでは？
9月9日	C社	3	—	技術を使うには、スペースが絶対必要
9月9日	C社	3	安心・安全	②は落ちてしまう可能性大！
9月9日	C社	3	安心・安全	②は乗っているときの振動が大きい？
9月9日	C社	3	安心・安全	②は機械から落ちるのでは？
9月9日	C社	3	安心・安全	②案 籠型にすると安心して乗れる
9月9日	C社	3	安心・安全	②はひもなどで固定が必須
9月9日	C社	3	認知	安全性のPRを！
9月9日	C社	3	認知	普段から使わないと使用しないのでは？
9月9日	C社	3	認知	①は練習しないと使えない！
9月9日	C社	3	認知	アピールをして、技術を知ってもらおうとよい
9月9日	C社	3	認知	町で使っていけば、来る人が慣れて使ってもらえそう
9月9日	C社	4	—	製品のテスト
9月9日	C社	4	—	いきなりは乗れない
9月9日	C社	4	—	使い方 練習
9月9日	C社	4	—	体験会
9月9日	C社	4	—	安全ベルト（命綱）
9月9日	C社	4	—	手すり
9月9日	C社	4	—	胸ベルト
9月9日	C社	4	—	座面の角度が安定するように

日付	社名	班番号	意見カテゴリー (あるものは記載)	個別意見 (付箋)
9月9日	C社	4	—	体の向きが階段側になるように
9月9日	C社	5	①	(実現されているし) 良いのでは
9月9日	C社	5	②	昇ってく時に後ろが見えないのが不安
9月9日	C社	5	②	②はストレッチャーの方は難しい☆
9月9日	C社	5	②	⇒対応できる技術にしてほしい
9月9日	C社	5	②	時間がかかりすぎる☆
9月9日	C社	5	②	⇒災害時にはどのように避難をするのか
9月9日	C社	5	②	⇒予約制にする必要あり
9月9日	C社	5	②	一般の方と接触しないかが不安☆
9月9日	C社	5	②	⇒階段や場所を分ける必要あり
9月9日	C社	5	②	⇒名古屋城の職員さんをつけて欲しい
9月9日	T社	1	—	昇降技術としては論外
9月9日	T社	1	—	現場に来て昇れる人、昇れない人 (障害者) とある時点で差別あり
9月9日	T社	1	—	体調良くない人 海外にいて名古屋城に来られない人
9月9日	T社	1	—	一現場へ行けない人の遠隔で使えればよい
9月9日	T社	1	—	名古屋城のサービスとしてはいいんじゃないか
9月9日	T社	1	—	(専門ガイドにより) よりリアルに見えるとよい
9月9日	T社	2	機器	ベースメーカーとの相性
9月9日	T社	2	賛	グーグルアース的+生の体験 体験の「共有」
9月9日	T社	2	疑問	聴覚障害者 普通に利用している わざわざ名古屋城で提供するの？
9月9日	T社	2	—	レククリア 落合陽一+動画 AISIN
9月9日	T社	2	—	上野駅「エキマトベ」を参考
9月9日	T社	2	—	ディスプレイの大きさ iPadぐらいは欲しい
9月9日	T社	2	—	目線の配慮
9月9日	T社	2	—	家にも同様のサービスを
9月9日	T社	2	—	画面のどこかor切り替えて手話表示、同時に
9月9日	T社	2	—	個人的な手話通訳が可能になるように
9月9日	T社	2	—	昇降機+αであってもいいのでは？
9月9日	T社	3	—	安上がりでできそう
9月9日	T社	3	—	昇らなくても見れるのが良い
9月9日	T社	3	—	昇らない人にとっては良い
9月9日	T社	3	—	雨でも見ることが出来る
9月9日	T社	3	映像	素人が映像を撮ると、見にくそう
9月9日	T社	3	映像	プロの人が映像を撮った方が良い
9月9日	T社	3	映像	映像の質を上げる技術の導入を
9月9日	T社	3	感覚	階段を使わず見るのはどうか？？
9月9日	T社	3	感覚	体感を再現してほしい
9月9日	T社	3	感覚	風を感じるなどの体感がない！！
9月9日	T社	3	感覚	映像以外の感覚が欲しい
9月9日	T社	3	感覚	臨場感があるととってもよい
9月9日	T社	3	感覚	そこで感じる触覚などがいる！
9月9日	T社	4	—	動画を撮っておく (あとからYouTubeとかで見る)
9月9日	T社	4	—	何のため？
9月9日	T社	4	—	説明付きモニターでよいのでは？
9月9日	T社	4	—	下に残されるだけ？
9月9日	T社	4	—	観てる人が意見を伝えやすいように
9月9日	T社	4	—	支援者が2人以上必要
9月9日	T社	5	—	議論する価値なし☆
9月9日	T社	5	—	”昇降”技術ではない
9月9日	T社	5	—	組み合わせが前提
9月9日	T社	5	—	”疑似”体験となれば良い
9月9日	T社	5	—	+ α
9月9日	T社	5	—	家族とリアルタイムで交流できる
9月9日	T社	5	—	触る感覚があれば良い
9月9日	T社	5	—	本丸御殿が見れば良い
9月9日	H社	1	バリアフリー？	限定された開口寸法で、人数が限定される
9月9日	H社	1	バリアフリー？	ストレッチャーが乗れない
9月9日	H社	1	バリアフリー？	1階ごとに乗り換える時間がかかる
9月9日	H社	1	—	とはいえ昇降技術としてはこれ！！
9月9日	H社	1	—	少しは椅子を倒せる。介助者は横へ
9月9日	H社	1	技術	転回しなくていいよう、スルー型に
9月9日	H社	1	技術	床面積が広いので各層、複数基の昇降機がつけられるとよい (低層部)
9月9日	H社	2	—	実現可能性
9月9日	H社	2	動線	混雑時 災害時の動線 エレベーター、階段の動線区別
9月9日	H社	2	動線	一般の人が割り込まないように優先性の確保
9月9日	H社	2	寸法など	自走車椅子を考えて
9月9日	H社	2	寸法など	内籠の大きさを大きく バギー、車椅子だと補助者が乗りづらくなる
9月9日	H社	2	—	音声補助
9月9日	H社	2	—	延長開ボタン センサーとか

日付	社名	班番号	意見カテゴリー (あるものは記載)	個別意見 (付箋)
9月9日	H社	2	—	操作部の多様性 せまいことから
9月9日	H社	2	—	文字の表示
9月9日	H社	2	—	ディスプレイ表示 特に災害時に考慮
9月9日	H社	2	—	待っている人がわかるようにモニターとか 混雑
9月9日	H社	2	内部工夫	鏡は絶対必要
9月9日	H社	2	内部工夫	クッション材 手すり
9月9日	H社	2	内部工夫	エレベーター ドア ガラスで外が見えるように
9月9日	H社	2	内部工夫	閉じ込められる不安感をなくす
9月9日	H社	2	内部工夫	木造建築見えるように壁をクリアに 架構
9月9日	H社	3	移動	使いやすそう
9月9日	H社	3	移動	健常者と別ルートがメリット
9月9日	H社	3	移動	他の人の移動を妨げない
9月9日	H社	3	災害	電気が止まった時の対策は？
9月9日	H社	3	災害	技術が止まった時に他の階に移動できなさそう
9月9日	H社	3	災害	災害時に逃げられる方法を！
9月9日	H社	3	災害	災害での安全性の確保が不明
9月9日	H社	3	災害	非常時のバッテリーが必要
9月9日	H社	3	—	スペース (技術の中) が狭いのでは？
9月9日	H社	3	—	障害者をのせるスペースがない
9月9日	H社	3	—	サポート年数を延ばす必要性
9月9日	H社	3	—	実績がある安心感
9月9日	H社	3	—	エスカレーターよりも保守費用が少ない
9月9日	H社	4	—	電動車いすの人でも入れる？
9月9日	H社	4	—	長井車椅子も入る？
9月9日	H社	4	—	どうしても昇れない人はカメラの技術を使っていたら
9月9日	H社	4	—	反対側にも扉があるといい
9月9日	H社	4	—	展示物がないので…
9月9日	H社	4	—	展示物が域内に無いからエレベーター付けるのはもったいない？
9月9日	H社	4	—	名古屋城クイズをモニターに (エレベーター各階に)
9月9日	H社	4	—	エレベーターをガラス張り (周りを見えるように)
9月9日	H社	5	—	ストレッチャーの方への対応を考えてほしい (長さへの不安)
9月9日	H社	5	—	重さはどうなっているのか？→200gは対応してほしい
9月9日	H社	5	—	動力部分を籠の上につけて、規格を大きくしてほしい
9月9日	H社	5	コメント	昇降技術としては消去法的にこれかなあ…
9月10日	K社	1		ありふれた技術なのでは？
9月10日	K社	1		乗者の操作性
9月10日	K社	1		別の階段を作れないか
9月10日	K社	1		乗り場での乗り換えがどうなのか
9月10日	K社	1		自前の車いすとセットで上げないと
9月10日	K社	1		自前車いすごと乗れないか？
9月10日	K社	1		車いすごと乗れるときの手すり
9月10日	K社	1		何台かを一気に上げられるように
9月10日	K社	2	使う人	体型によっては座りにくいのでは？
9月10日	K社	2	使う人	体が大きい人だと乗りにくい
9月10日	K社	2	使う人	座ることが困難な人はどうするのか
9月10日	K社	2	使う人	体にまひのある人は乗れない
9月10日	K社	2	形状	イスの高さが調節できるとよい
9月10日	K社	2	形状	人に合わせてイスの形を変えれるとよい
9月10日	K社	2	心配	階段の幅がないから他の人が登れないのでは？
9月10日	K社	2	心配	ベルトがありつつもイスから落ちる心配がある
9月10日	K社	2	心配	使い方がいまいち分かん
9月10日	K社	2		車いすの人は上まで行ったときにどうするのか？
9月10日	K社	2		イスから下ろす人が必要
9月10日	K社	2		技術として面白い
9月10日	K社	2		地下鉄のものよりスマートである
9月10日	C社	1		車いすを降りる前提なのは・・・
9月10日	C社	1		乗り換えが現実性がない
9月10日	C社	1		ここまでして利用するか
9月10日	C社	1		装着時間 介助が必要？
9月10日	C社	1		脱着のスピード
9月10日	C社	1		エレベータ以上の安全性を保障できるべき
9月10日	C社	1		①つけることで痛みが発生するのでは
9月10日	C社	1		誰のどの車いすでも対応できるように (使い手が限定されてしまっている)
9月10日	C社	1		ジョイスティックが全員操作できるように
9月10日	C社	1		②振動性
9月10日	C社	2	①	①は需要があるかも
9月10日	C社	2	①	①は話題性がありそう
9月10日	C社	2	①	他の場面でも使えそう
9月10日	C社	2	②	車いす型が途中で止まると怖い

日付	社名	班番号	意見カテゴリー (あるものは記載)	個別意見 (付箋)
9月10日	C社	2	②	②が車いすの改善につながりそう
9月10日	C社	2	②	勾配が45度だから怖い
9月10日	C社	2	②	人が通ると止まってしまうかも？
9月10日	C社	2	②	寝たきりの人は運べるのか？
9月10日	C社	2	実現のために	台数を確保できるか？
9月10日	C社	2	実現のために	コスト面で不安 (例 メンテナンス)
9月10日	C社	2	実現のために	実現できるとよさそう
9月10日	C社	2		城の改修の必要がない
9月10日	C社	2		使える人が限られる
9月10日	C社	2		安全装置は？
9月10日	C社	2		イメージがわからん
9月10日	T社	1		現地まで来て「行けるのに行けない」
9月10日	T社	1		機械費用高い？
9月10日	T社	1		実現可能性はあるが昇降技術としては
9月10日	T社	1		家族別々は違う。家族と一緒に
9月10日	T社	1		臨場感
9月10日	T社	1		体験として難しいのでは・・・？
9月10日	T社	1		名古屋城Vグラスあまり楽しくなかった
9月10日	T社	2	映像	映像で酔う？
9月10日	T社	2	映像	しゃちほこの先を見たい！
9月10日	T社	2	映像	日ごろは使えないものを見る
9月10日	T社	2	映像	遠隔で満足できるのか？
9月10日	T社	2	映像	リアルへの再現
9月10日	T社	2	映像	VRに近い
9月10日	T社	2	映像	装置を使って移動するのは安全か？
9月10日	T社	2	技術として	知的障害の方だと示しにくい
9月10日	T社	2	技術として	家族やスタッフと一緒にやると思いを表現できる
9月10日	T社	2	技術として	城としては良いが昇降技術としてはどうか？
9月10日	T社	2	技術として	バリアフリーとは違う
9月10日	T社	2	楽しみ方	祖父や祖母との交流になる
9月10日	T社	2	楽しみ方	家族としての楽しみ方
9月10日	T社	2	楽しみ方	レクとして映像を見ると面白い！
9月10日	T社	2	楽しみ方	スマホでも見れる
9月10日	T社	2	楽しみ方	ライン電話に近い
9月10日	T社	2		他の技術の補充となる
9月10日	H社	1		サイズを限りなく大きく←家族一緒に・・・
9月10日	H社	1		地下鉄レベルの車いす2台分ぐらいの広さ (11人のり)
9月10日	H社	1		すべての車いすに対応できるのか
9月10日	H社	1		車いすのサイズだけではなく、足が出ていたりするため、人の寸法も考える
9月10日	H社	1		健常者、高齢者のためにも必要ではないか
9月10日	H社	1		耐震性
9月10日	H社	1		重量関係 (200kg以上ある車いすある)
9月10日	H社	1		下の広いところは複数台で
9月10日	H社	1	(動線)	上がるのと下りるのを両方エレベーターで！
9月10日	H社	1	(動線)	生き帰りの動線
9月10日	H社	1	(一気に)	一発で5階まで上がれるように
9月10日	H社	1	(一気に)	2階分一気に上がったら・・・ (2回乗り換えぐらいで)
9月10日	H社	1		エレベーター内の通り抜け スルー型→□→
9月10日	H社	1		スルー型エレベーター→□→
9月10日	H社	2	保存	使い慣れている安心感
9月10日	H社	2	保存	はりや柱を壊す必要がない
9月10日	H社	2	合わせ技	他と合わせて使いたい
9月10日	H社	2	合わせ技	他と合わせると良い
9月10日	H社	2	エレベーター	安全性が一番高いと思う
9月10日	H社	2	エレベーター	木造にエレベータは重さに耐えられるか？
9月10日	H社	2	エレベーター	エレベーターじゃない！？
9月10日	H社	2	エレベーター	ここまでして利用するが完全なものはびっくり
9月10日	H社	2	エレベーター	災害に対応できるエレベーターが欲しい
9月10日	H社	2		人と人が別れてしまう。(ルート)
9月10日	H社	2		15年で更新できるから良い